

歯学部を支える方々

歯学部とのお縁に感謝して

歯学部学務係 石 栗 真理子

歯学部学務係の石栗と申します。新潟大学卒業後、平成23年4月に採用となり、医歯学総合病院で契約事務を担当後、五十嵐キャンパスで広報室、工学部学務係の勤務（その間、二度の育児休業期間）を経て、令和4年10月に歯学部事務室学務係へ参りました。主に学部学生の授業や実習、共用試験など、教務全般に関する業務をメインに担当させていただいております。

早いことに歯学部へ来てから1年が経ちました。歯学部の1年を経験させていただいた中で、春には新入生研修、そして夏にはオープンキャンパスとコロナ禍以降中断していた行事にも担当者として携わることができ、貴重な経験をさせていただいております。

歯学部学務係は職員4名で歯学部・医歯学総合研究科（歯）の両方の事務を担当しています。前部署（工学部）と比較しますと学生数は少ないものの、職員一人あたりの業務の幅が広く、学務係としては2つ目の学部の経験となりますが、最初は戸惑うことも多くありました。同僚や先生方から多大なるご協力を賜り、ようやく業務に慣れてきたところです。いつも、感謝申し上げます。

今後はよりスピード感をもって、学生のより良いサポートができるよう、日々業務を行ってまいります。まだまだ至らぬ点もあることと存じますが、頼りになる学務係職員を目指してこれからも精進してまいりますので、今後ともどうぞ、よろしく願いいたします。



私の経歴と歯学部での抱負について

歯学部事務室総務係長 小西 充

令和4年10月から歯学部事務室で総務係長を務めている小西と申します。私は平成20年に本学に採用となり、当時の研究支援部から大学職員としてのキャリアをスタートしました。同部では、科研費等の外部資金に関する研究支援業務等に携わり、その後、学務部において学生の就職・キャリア形成支援等の業務に携わりました。直近では、歯学部と同じ旭町キャンパスの医学部で、5年半に渡り共用試験OSCE、CBTや臨床実習等を担当し、その間、共用試験の公的化への対応や、コロナ禍での診療参加型臨床実習の継続など、新たな課題に取り組む機会が多く、苦勞した分、学びの多い時間となりました。

現在の私の業務としては、人事、予算、会議運営から国際交流等まで幅広く担当しています。不慣れな業務もありますが、私は新しい業務に取り組むことに楽しみを感じるため、幅広い業務に携われる現在の環境が性に合っているのかもしれない。一方で、歯学部への異動により、およそ10年ぶりに学生の皆さんとお話する機会がほとんどなくなったことは、大きな環境の変化でした。

学生支援こそ大学職員として一番大事な仕事！と思っている自分にとっては、少し寂しさを感じる状況ですが、充実した大学生活を送ってもらえるよう、学修環境の整備等でも学生の皆さんを支えられたらと思います。

さて、第4期中期目標期間は、コロナ禍でのスタートでしたが、この1年は、大学に本来の教育研究活動が戻ってきたことを実感する1年でした。今後も学内外をリードする歯学部であり続けられるよう、微力ながら事務部門として貢献できればと思っています。

最後に、私の趣味について紹介します。この数年は、キャンプ、釣り、虫採り、スキーなどのアウトドアでの遊びや、自宅では草花の手入れや、魚の世話、毎年、山で捕まえてくるカブトムシやクワガタの世話を楽しんでいます。また、美味しいお酒を飲むことも好きなので、歯学部の先生方と業務外でも交流を深められる機会を持って嬉しく思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

